

ご卒業によせて

佐賀女子短期大学の卒業・修了の日を迎えられた172人の皆さん、おめでとうございます。また、支えて下さったご家族、福祉コースの留学生を受け入れて下さった施設、そして関係者の皆様にも、御礼とお祝いを申し上げます。またご臨席いただきました佐賀女子短期大学同窓会若楠会の山口美保子様ありがとうございます。

皆さんが入学した頃は、新型コロナウイルス感染症のピークは過ぎていたと言え、お昼休みには「友達との距離を取り、お昼ご飯はおしゃべりしないで食べましょう」そんな校内放送が流れていました。学生の皆さんも教職員も一緒に、何とか例年通りの学校行事をしようとして感染防止に務めました。そのかいあって、文化祭や留学、実習も、ほぼコロナが流行する前と同様に実施することができました。皆さんの努力に心から感謝します。

特に今日、晴れて卒業の日を迎えた「福祉とソーシャルケアコース」のミャンマーからの留学生11人の皆さん、おめでとう。コロナ対応、そして2021年2月に起きた軍のクーデターもあって1年以上入

国できず、3年かけての卒業となりました。銃撃戦に怯えながら、ピザを取るために命がけで何時間も並んでいると聞き、私は毎日、無事を祈りました。2022年5月2日に全員が福岡空港に到着したと聞いた時の安堵感と嬉しさは忘れられません。よく諦めずに頑張りました。

またウクライナから逃れてきた学生さんたちとの交流もありました。このように、人生において様々な体験をした学生と共に皆さんは学び、卒業の日を迎えました。私がここで申し上げたいことは、全ての皆さんのこれからの人生には、楽しい事もありましょうが、一方で、辛い、困難なこともあるだろうということです。

それを乗り越えるための方法を私から一つお伝えしますね。

私は学び続けることだと思っています。卒業式の日にもまた学びの話？と皆さんは首をすくめるかもしれません。しかし、学ぶ方法や内容は、様々です。世界情勢を伝えるニュースを見たり、仕事場でも新しい技術や知識を身に着けるために先輩や同僚に尋ねる。結婚してお母さんになったら、あなたのお母さんやご主人のお母さん、つまりお姑さんに子育てについて聞くのも学びです。教えて頂くという謙虚な気持ちで学びを続け、自分を成長させてください。それから、他

者、つまり周りの人々と共に今を生きていることを忘れないでください。そこに、感謝が生まれ、その心があれば、あなたはきっと幸せになれます。

これからの人生、まだまだいろいろなことがきっと、あります。辛い事、悲しい事、悩んで答えが出せない時もあるでしょう。そんな時は、この佐賀女子短期大学を思い出して下さい。友達、先生を思い出して下さい。佐賀女子短期大学は、旭学園は皆さんにとって、いつでも温かく迎え入れてくれる故郷でありたいと思っています。

皆さんの幸せを心から願っています。

令和6年3月14日

学校法人 旭学園理事長

内田信子

- ・ 154人と別科生18人の合計172人
- ・ 内留学生は福祉が28人 グローバルが7人
- ・ 韓国7人（ダブルディグリー） ミャンマー16人
ネパール12人
- ・ 別科生はミャンマー17人ネパール1人